

科目区分：人文・社会科学

授業科目名	日本国憲法（憲法と私たちの暮らし）					学期	曜 日	校時
英 語 名	The Constitution of Japan（Constitution and Our Lives）							
担 当 教 官 名	奥 真美	単位数	2 単位	必修 選択	選 択	後期	火曜日	3 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
憲法とは何かを理解し日本国憲法の全体像を把握したうえで、日常生活との関連性が深く社会的関心の高い具体的なテーマをとおして憲法の主要な争点について学ぶ。本授業の最終的なねらいは、憲法と社会問題や日常の事象とを結びつけて考えられるようになってもらうことにある。 まず、現代憲法の役割と根底に流れる普遍的な理念、わが国憲法の歴史的な変遷、日本国憲法の基本原理について簡潔に講義をする。そのうえで、さらに現行憲法に関する理解を深めるために、個別具体的なテーマを取り上げて、日本国憲法をめぐる主要な争点のいくつかについて解説する。								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
テキストは特に指定しないが、参考書としては、芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法 第三版』岩波書店（3,000円＋税）、伊藤真『伊藤真の図解 憲法のしくみがよくわかる本』中経出版（1,500円＋税）などがある。このほか、授業ではレジメとともに、必要に応じて、判例、新聞記事、雑誌記事、統計等の資料をコピーして配布する。								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
全 学 部	定期試験（論述）（85％）、講義後に随時提出してもらう意見・感想等（15％）を総合的に勘案して評価を行う。							
授 業 計 画								
1. 憲法とは何か－憲法の役割・目的、法律との違い 2. 日本国憲法制定までの道程 3. 憲法の基本原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重） 4. 基本的人権の原理と体系およびその限界 5. 国民主権と天皇制 6. 平和主義の理念とわが国の現状（その１）：平和主義と第９条の解釈をめぐる変遷 7. " （その２）：自衛隊と在日米軍の合憲性をめぐる判例 8. " （その３）：日米安保体制の変遷と有事立法 9. 外国人の人権 10. 参政権：選挙権を中心に 11. プライバシーの権利 12. 自己決定権 13. 知る権利と情報公開制度 14. 予備日 15. 定期試験								
＊ オフィスアワー（質問等受付時間）：火曜日 15:00～17:00 ＊ このほか質問等はメールでも受け付けますので、mamioku@net.nagasaki-u.ac.jpまでご連絡ください。								